

【収入保険】 保険金を受け取った方の声



「霜害などに備え加入を継続」

【新潟県新潟市 倉澤 正樹さん】

経営規模＝柿1.3ヘクタール、水稲6.2ヘクタール、
イチジク10アールなど

収入保険は農業収入が減少した分の補償が得られるので、複合経営の農業者にとって分かりやすく、加入を決断した理由の一つです。

制度が始まってから継続して加入していますが、**2021年は春先の降霜で収穫量は平年の4割程度となり、収入保険のおかげで大変助かりました。**

近年、温暖化の影響で柿の花芽形成が早くなっており、霜の被害が多く発生する傾向がみられます。収入保険で備えるのはもちろん、防霜ファンを設置するなど対策も必要だと考えています。

収入保険は農業経営にとっても安心材料。多くの農業者にお勧めします。

（農業共済新聞（新潟版）2022年9月14日より要約）